

## 令和3年度 事務事業点検評価シート

事業番号	10	事業名	図書資料の貸出（予約）事業
		担当部署	図書館

教育振興基本計画での位置付け	基本目標	2 生涯学習を支える社会教育の充実
	施策	1 学習環境と学習機会の充実
	施策の展開・主な取り組み	4 図書館サービスの充実

事業の内容	図書資料等の貸出・予約、県内公立図書館ネットワークによる相互貸借制度の活用
事業の対象	市内に在住・在勤・在学する者のほか、川口市、戸田市、草加市及びさいたま市に在住する者
事業の目的・目指すべき姿	<p>[事業の目的] 利用者の多様なニーズに応え、教養の向上、レクリエーションおよび日常生活に役立つ資料などを幅広く収集し、提供する。</p> <p>[目指すべき姿] 高度化、多様化する情報について、図書資料をより多く収集することにより、利用者の教育と文化の発展に寄与する。</p>

取り組みにおける成果・効果について			
<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府による緊急事態宣言等を受け休館となった期間もあり、年間実利用者数・年間貸出件数は前年度比減となった。一方、館内への立ち入りの制限期間中に予約資料の受け渡しを継続したことで、年間予約件数は前年度比+60%と大幅増となった。利用者からは「近隣市の図書館が利用できない中、蕨の図書館では予約すれば借りられるのでとても嬉しい」といった声を多くいただいた。また、蕨市が舞台の女子サッカー漫画「さよなら私のクラマー」の特設コーナーを設け、多くの利用者に蕨市が漫画・アニメの舞台となったことを知っていただき話題にすることで蕨市への愛着を高めるとともに、地域活性化に資することができた。いずれの取り組みも外出自粛が要請されステイホームが推奨される中、せめて読書を楽しんでいただける環境を提供したことで、利用者の生涯学習活動に寄与することができた。</p>			

取り組みに対する担当課評価	A	前回評価結果	A
---------------	---	--------	---

参考指標	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（見込み）
年間実利用者数（人）	9,537	9,720	7,695	8,000
年間貸出件数（件）	294,993	338,861	279,765	290,000
年間予約件数（件）	18,412	24,788	39,642	40,000

決算額の状況	年度	平成30年度 決算額(円)	令和元年度 決算額(円)	令和2年度 決算額(円)	令和3年度 予算額(円)
	事業費		31,601,243	30,617,605	34,221,114
人件費		42,786,000	44,459,000	39,010,000	39,010,000
合計		74,387,243	75,076,605	73,231,114	76,602,000

残されている課題・今後の取り組みについて	
<p>昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、図書館講演会をはじめ、長期休業期間中に実施していたおたのしみ会、隔月で開催していた映画会等、計画していたほぼ全ての事業を軒並み中止せざるを得なかった。そのような状況の中、児童向けイベントの「絵本と紙芝居」他2事業については、ご協力いただいているボランティアの方々と連携し、感染対策の徹底を図った上、再開することができた。今年度は、感染状況を鑑みながら、各種事業の再開に向け、検討を重ねていく。コロナ禍だからこそ、図書館の果たす役割への期待が高まっていると考えられるため、引き続き利用者の本への関心が高まり、更なる図書館利用の拡大につながるような取り組みを今後も継続していく。</p>	

外部委員評価	評価結果	評価コメント
	A/A	<p>社会教育施設の多くが事業休止になったなかで、図書館の存在価値があらためて注目されている。WEB予約が定着していることも貸出の維持につながった。WITHコロナの工夫として、新刊図書の動画紹介や学校向児童図書オンライン朗読など、情報手段を活用して図書館利用への関心を高める新たな方法も考えられる。／図書館の役割も本の貸し出しだけでなく、イベントによる集客等、多様化への対応能力が問われている。引き続き取り組みに期待したい。市民からの要望や購入図書選定など、選定プロセスの発信をHPで行うべきと思う。</p>